

札幌地域における野菜の入荷量及び卸売価格の見通し

平成 2 4 年 6 月 6 日
農林水産省生産局農産部園芸作物課
電話 03-3502-8111 (内線 4822)

対象年月：平成 2 4 年 6 月
対象市場：札幌市中央卸売市場

【5月の経過（実績見込み）】

① 入荷の動向

5月の野菜は、北海道ものを中心に、関東平坦地、東海、四国及び九州もの等が出回った。主要野菜の入荷量は、総じて前年並みの入荷となった。

「前年を上回った」のは、にんじん、ばれいしょの2品目である。

「前年をやや上回った」のは、ねぎ、レタス、たまねぎの3品目である。

「前年並み」は、はくさい、キャベツの2品目である。

「前年をやや下回った」のは、なすの1品目である。

「前年を下回った」のは、だいこん、ほうれんそう、きゅうり、トマト、ピーマンの5品目である。

「前年をかなり下回った」のは、さといもの1品目である。

② 価格の動向

このような入荷状況のもとで、5月の野菜価格は、総じて前月平均並みの価格となった。

「前月平均を上回った」のは、ほうれんそうの1品目である。

「前月平均をやや上回った」のは、ねぎの1品目である。

「前月平均並み」は、キャベツ、さといも、たまねぎの3品目である。

「前月平均をやや下回った」のは、はくさい、きゅうりの2品目である。

「前月平均を下回った」のは、にんじん、なす、トマト、ピーマン、ばれいしょの5品目である。

「前月平均をかなり下回った」のは、だいこん、レタスの2品目である。

【6月の見通し】

① 入荷量の見通し

6月の野菜は、北海道ものを中心に、関東平坦地、東海、四国及び九州もの等が出回る。野菜の入荷量は、総じて前年をやや下回る入荷が見込まれる。

「前年並み」は、北海道、茨城及び埼玉主体のにんじん、北海道主体のほうれんそう、北海道及び茨城主体のねぎ、北海道主体のレタス、茨城、群馬及び高知主体のなす、北海道主体のトマト、北海道及び長崎主体のばれいしょの7品目である。

「前年をやや下回る」は、北海道主体のだいこん、北海道主体のはくさい、北海道及び茨城主体のキャベツ、北海道主体のきゅうり、北海道及び宮崎主体のピーマン、栃木及び佐賀主体のたまねぎの6品目である。

「前年を下回る」のは、宮崎主体のさといもの1品目である。

② 価格の見通し

このような入荷状況のもとで、6月の野菜価格は、総じて前月平均並みの価格が見込まれる。

「前月平均を上回る」のは、きゅうり、なす、ばれいしょ、さといもの4品目である。

「前月平均並み」のは、にんじん、トマト、ピーマン、たまねぎの4品目である。

「前月平均をやや下回る」のは、だいこんの1品目である。

「前月平均を下回る」のは、はくさい、ねぎ、レタスの3品目である。

「前月平均をかなり下回る」のは、キャベツ、ほうれんそうの2品目である。

※ この資料の内容は、6月1日（金）現在で見込んだものであり、気象条件等により変動があり得る。

(参考) 入荷量と卸売価格の見込み

	6月の入荷量			6月の価格			6月の主産県
	前月比較	前年比較	5カ年	前月比較	前年比較	5カ年	
だいこん	○	△	△	△	○	○	北海道(99.6%)
にんじん	△	=	=	=	△	△	北海道(38.4%)、埼玉(26.0%)、茨城(24.0%)
はくさい	△	△	△	△	○	○	北海道(89.1%)
キャベツ	○	△	=	△	○	○	北海道(72.7%)、茨城(23.4%)
ほうれんそう	○	=	=	△	=	○	北海道(100.0%)
ねぎ	=	=	△	△	△	△	北海道(46.6%)、茨城(43.6%)
レタス	=	=	○	△	○	○	北海道(99.9%)
きゅうり	○	△	△	○	△	○	北海道(83.8%)
なす	△	=	△	○	△	○	高知(47.8%)、茨城(27.5%)、群馬(11.7%)
トマト	○	=	△	=	=	○	北海道(93.7%)
ピーマン	△	△	△	=	△	○	北海道(40.8%)、宮崎(26.1%)
ばれいしょ	△	=	△	○	△	△	北海道(65.7%)、長崎(21.0%)
さといも	△	△	=	○	△	△	宮崎(8.8%)
たまねぎ	△	△	=	=	○	=	佐賀(66.1%)、栃木(6.1%)

入荷量と卸売価格の符号

符号	入荷量	卸売価格
○	多い	高い
=	同じ	横ばい
△	少ない	安い